

令和4年度(5年産)ビール大麦等生育概況③

農業試験場研究開発部麦類研究室

調査日：令和5年2月6日

(調査基準日2月5日)

- 1月20日以降の平均気温は平年よりやや低く推移し、草丈は生育の停滞がみられた。
- 茎数、葉齢等の生育量は平年より多い。
- 降雪等の影響による葉先枯れが一部発生している。

【1月下旬～2月上旬(1月20日～2月5日)の気象概況】

宇都宮市の1月20日から2月5日までの平均気温は、平年よりやや低い2.3℃(平年差-0.5℃)であった。降水量は0mmと平年より少なく、日照時間は平年比102%と平年並みであった。

【2月上旬(2月4日)の生育概況 農試本場(宇都宮市)】

農試本場(宇都宮市)のニューサチホゴールドの草丈は平年比105%、茎数は平年比147%であり、葉齢は平年より0.9枚多い。降雪等の影響による葉先枯れも一部発生している。葉色値(SPAD)は平年比104%であった。幼穂長は平年比79%と短かったが、幼穂長は平年比110%で平年より長い。幼穂分化程度は「Ⅷ～Ⅸ前」の段階であり、平年並みである。

【今後の気象動向(気象庁季節予報令和5年2月2日発表より引用)】

- 平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。
 - ・ 向こう1か月の平均気温は、平年より高い確率が60%
 - ・ 降水量は、平年より多い確率が50%
 - ・ 日照時間は、平年より少ない確率が50%

項目	地域	期間	低い(少ない)	平年並	高い(多い)
気温	関東甲信地方	向こう1か月 02/04～03/03	10	30	60
		1週目 02/04～02/10	10	20	70
		2週目 02/11～02/17	10	20	70
		3～4週目 02/18～03/03	30	40	30
降水量	関東甲信地方	向こう1か月 02/04～03/03	20	30	50
日照時間	関東甲信地方	向こう1か月 02/04～03/03	50	30	20

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

※1週目 : 2月4日～2月10日
2週目 : 2月11日～2月17日
3～4週目 : 2月18日～3月3日

【今後の管理】

1) 踏圧（麦踏み）

踏圧を行っていないほ場では、なるべく早く踏圧を行う。

踏圧目安：2.5 葉期以降

踏圧回数：年明け後から茎立期直前までに2～4回実施

踏圧間隔：2週間以上

※茎立期：幼穂長が2cmを超え、茎が起立し始めるとき

ほ場が高水分状態での踏圧は土を固めてしまい、生育に悪影響を及ぼすので、ほ場の乾燥状態を確認した上で踏圧を行う（目安として靴に土がつかない程度）。

踏圧の効果

- | | |
|------------|-----------|
| ・分げつを旺盛にする | ・凍上害を防止する |
| ・根張りをよくする | ・耐寒性を増大する |
| ・生育をそろえる | |

2) 排水対策

今後の1か月予報では、降水量は平年より多い確率50%と予測されているので、まだ明きよを整備していない圃場では速やかに整備を行う。

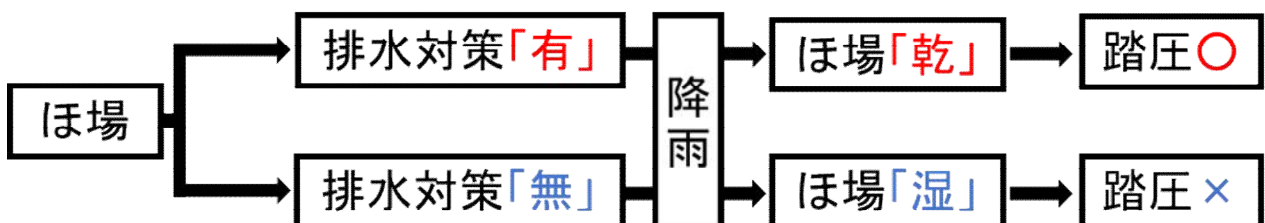
★整備のポイント★

① 明きよの出口が、ほ場外の排水路に接続されている。

② 溝が土や泥等で埋まっていない。
(埋まっていたらさらう)。

このような排水対策の実施により、降雨・降雪後のほ場の乾燥を促し、計画的な踏圧が可能となる。

※適切な排水対策により、降雨後でもほ場が乾きやすく、早い時期に踏圧ができる



【耕種概要等】

調査方法：ほ場調査(草丈、茎数、葉齡、葉色、NDVI)

抜取調査(幼稈長、幼穂長、幼穂分化程度)

播種期：11月7日(前年11月8日・平年11月6日)

播種量等：条間22cmのドリル播、播種量226粒/m²設定

施肥：

	施肥量(kg/10a)			備考
	N	P	K	
基肥	7.0	9.0	7.0	BBビール麦エース 14-18-14 50kg/10a

※前作は水稻青刈りすき込み、堆肥1.0t/10aを施用

※重焼燐2号200kg/10a、苦土炭カル100kg/10aを施用

踏圧：12月14日、12月21日、1月5日、1月20日、2月6日

【調査結果】

農試本場(宇都宮市)における生育概況(2月6日)

品種名	年度	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉齡	葉色 SPAD	正規化 植生指数 NDVI	幼稈長 mm	幼穂 長 mm	幼穂 分化程 度
ニューサチホ ゴールデン	本年	13.4	1585	6.6	39.4	0.45	3.1	1.9	6.8
	前年	11.2	941	5.5	34.5	0.35	2.3	1.9	5.5
	比・差	120%	168%	1.1	114%	127%	140%	98%	1.3
	平年	12.8	1078	5.7	37.8	0.45	4.0	1.7	6.3
	比・差	105%	147%	0.9	104%	98%	79%	110%	0.4
サチホ ゴールデン (参考)	本年	14.4	1682	6.6	38.9	0.45	3.0	1.6	6.8
	前年	11.3	935	5.4	34.5	0.35	2.1	2.0	5.5
	比・差	127%	180%	1.2	113%	129%	142%	82%	1.3
	平年	12.4	1035	5.6	38.8	0.46	4.0	1.7	6.4
	比・差	116%	163%	1.0	100%	97%	74%	95%	0.4
シュンライ	本年	10.2	1235	5.4	44.2	0.43	2.2	0.9	5.2
	前年	7.8	705	4.3	37.4	0.31	1.6	1.4	3.9
	比・差	131%	175%	1.1	118%	139%	137%	68%	1.3
	前年	8.8	777	5.3	45.0	0.41	2.3	1.1	5.0
	比・差	116%	159%	0.1	98%	106%	96%	87%	0.1
さとのそら	本年	12.1	1359	6.0	50.4	0.41	2.5	0.4	2.1
	前年	11.1	723	5.1	45.3	0.32	1.2	0.5	2.4
	比・差	109%	188%	0.9	111%	129%	199%	70%	-0.4
	前年	11.0	1207	6.0	45.8	0.46	2.0	0.5	2.4
	比・差	109%	113%	0.0	110%	88%	127%	71%	-0.4

注1) NDVI：植物体の近赤外域の反射率と赤の反射率から求められ、植生の量や生育の良否を指数化したもの

注2) 分化程度の前年及び平年差は、下記階級値に変換して計算した。

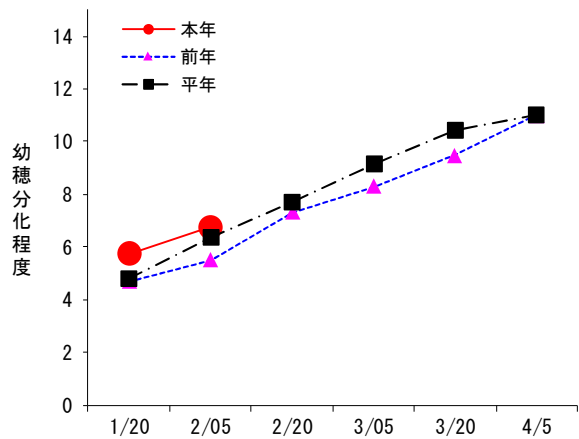
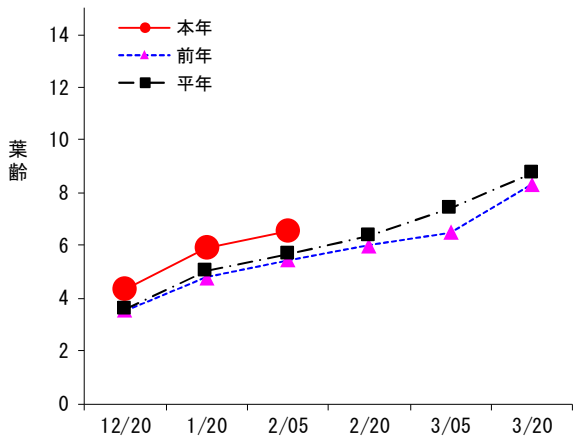
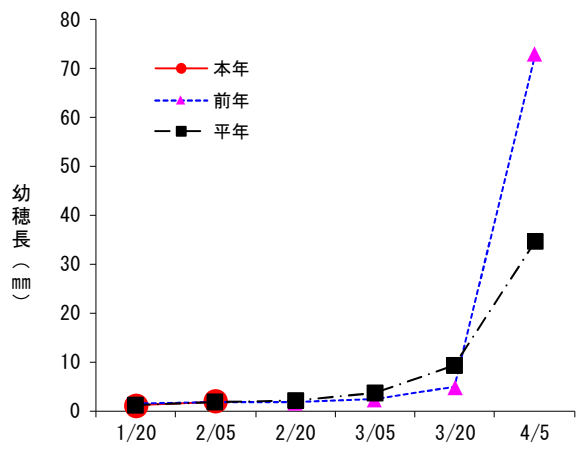
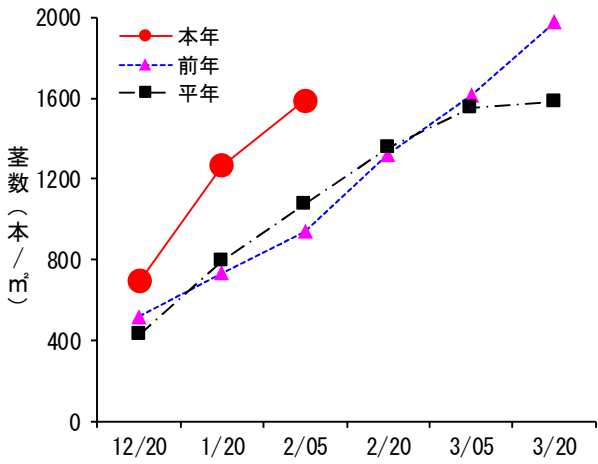
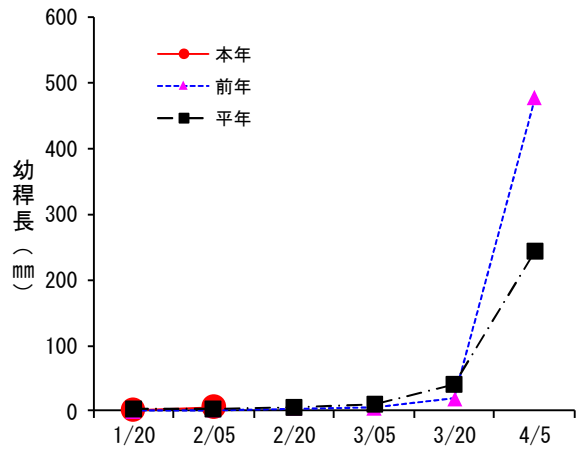
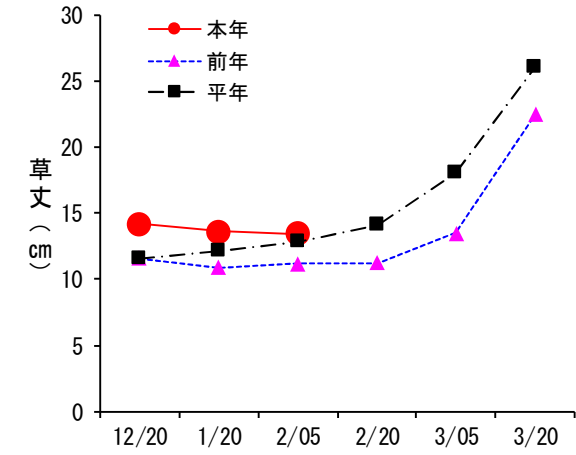
V：2 VI：3 VII前：4 VII後：5 VIII：6 IX前：7 IX中：8 IX後：9 X：10 X以降：11

注3) 小数点以下第2位を四捨五入してあり、実際の差と一致しない場合がある

※平年値ニューサチホゴールデン及びサチホゴールデン：平成25～令和3年度(9年間)

シュンライ、さとのそら：令和元年～令和3年度(3年間)

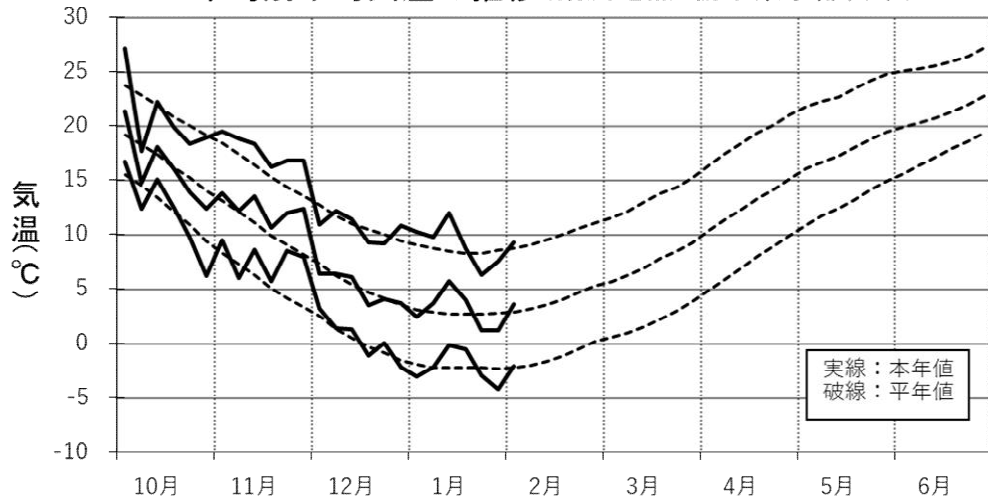
【ニューサチホゴールデン生育調査結果（農試本場）】



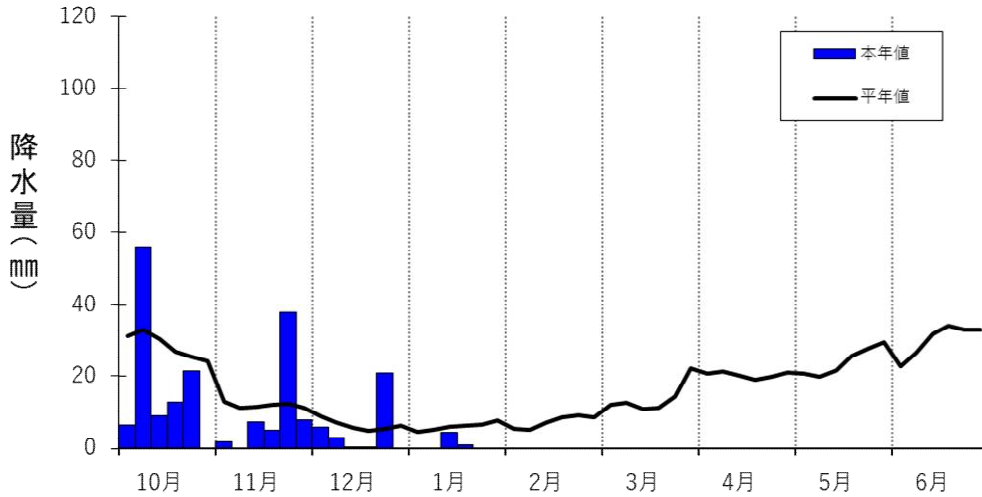
注) 幼穂分化程度は下記階級値に変換
 V : 2 VI : 3 VII前 : 4 VII後 : 5 VIII : 6 IX前 : 7
 IX中 : 8 IX後 : 9 X : 10 X以降 : 11

【気象概況】

半旬別平均気温の推移(観測地点: 栃木県宇都宮市)



半旬別積算降水量の推移(観測地点: 栃木県宇都宮市)



半旬別積算日照時間の推移(観測地点: 栃木県宇都宮市)

